

みどりの風

(URL) <http://www.ginzado.ne.jp/~k-iskwj/> (E-mail) k-iskwj@educet.plala.or.jp

2学期の成長を喜び合い、笑顔いっぱいの冬休みを

21日に2学期が終了します。とても実り多い学期だったと思います。「タイムチャレンジマラソン」「文化祭」「校外学習」「校内音楽発表会」等の行事や「日々の学習や生活」を通して、子どもたち一人一人は大きく成長しました。挨拶、家庭での仕事、家庭学習、歯磨き運動等にもしっかり取り組みました。さらに高学年は「親善陸上記録会」、5年生は「収穫祭」、6年生は「市内音楽発表会」等を通して、自分たちの力を高めたり他校との交流を深めたりしました。全校で、大きな事故や事件がなかったことも本当に嬉しかったことです。これも保護者・家庭、地域の皆様、セーフティ・スタッフやPTA役員等の方々のご支援・ご協力のおかげです。心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。そして、この便りを読まれている皆さん全員で、今年の子どもの成長を喜び合いましょう。

さて、お話を一つ紹介します(私が持っている本の中に書かれていることを題材にしています)。

ときは永禄3年(1560年)。まだ江戸時代前の戦国時代…。ある武将が戦(いくさ)に出向くにあたり、戦勝祈願のために、兵を連れて熱田神宮を訪れた時のこと。武将はその時まだ27歳。戦国武将としてはまだヒヨッコです。



さて、その武将。熱田神宮に祈願した後、熱田出身の侍である加藤図書助順盛(かとうずしよのすけのぶもり)に声を掛け、「神前に捧げる御神酒の酌をせよ」と命じます。命じられた加藤。加藤は御神酒のお酌をすると、その武将、周りの兵たちに聞こえるように、加藤にこう言いました。

「加藤!」「加藤よ。今日の戦は**勝とう!**」

今だったら、全員ドン引きするかもしれない、オヤジギャグです。でも、これを聞いた兵たちは、こう思ったかもしれません。「うちの大將は、若いのに意外とやるな」、「面白い!余裕がある」。

そのおかげかどうかは分かりませんが、絶対的に不利と言われたその戦は奇跡的な勝利に終わったとのこと。出陣前に、オヤジギャグをとばした武将の名は織田信長。戦の相手は今川義元。そうです。桶狭間の戦いでした。ギャグ1つで兵の士気をあげた信長。若くして大物だったようです。

こういったダジャレは時や場所を選びます。タイミングもあるでしょう。聞く方も気をつかいます。ですが、ユーモアや笑いは、人に元気をもたらすことが多くあります。この話は、作り話ではなく、古い文献(『尾張名所図会』)の一部に記録が残っているそうです。

さて学校では、2学期も様々なことがあり、その都度考え、学び、時には悩み、また感動・感謝しながら心と身体と学力を育ててきました。とは言っても、思いやりや感動の心、挨拶、自己有用感や自信、自分や人のためにがんばろうとする意欲は、最も小さい社会の単位である「家庭」で育まれると言われています。12/22から冬休みです。「家庭」での生活や「家族とのかかわり」がとて強く、**大事な17日間**です。「**家族の一員**」としてふさわしい生活をしていくのが、この冬休みの最大の課題だと思います。

最後にお願ひがあります。「家族で一緒に大掃除をしたり料理を作ったりする」「お正月ならではの遊びや書き初めを楽しむ」のも良い取組ですが、ぜひ、**笑い・笑顔のある**年末年始をお過ごしいただきたいのです。もしかすると子どもによっては辛くて切ないことがあったかもしれません。けれども、各家庭での明るい生活が、子どもに**次の**エネルギーを与えたいと思います。**前向きな**姿を育てます。にこにここと、かしこくたくましく過ごし、気付き考え行動し、家族の皆さんと一緒にあたたかな心で新年を迎えられるよう、願っております。

そしてもう一つ。**1月8日に全員が無事登校できますように…。皆様、よいお年を…。**